

製品名: OSM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15519**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	OSM
別名	Oncostatin-M (OSM)
遺伝子 ID	5008.0
SwissProt ID	P13725
免疫原	AA 範囲: 50-100 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

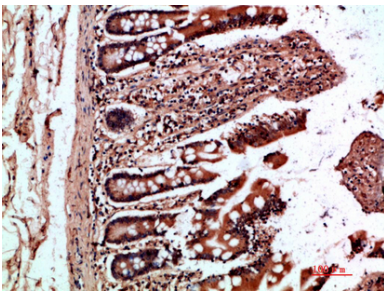
この遺伝子は、白血病抑制因子/オンコスタチン M (LIF/OSM) ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟タンパク質を生成します。このタンパク質は分泌型サイトカインであり、

成長調節因子として、多くの腫瘍細胞株の増殖を阻害します。また、このタンパク質は、インターロイキン 6、顆粒球コロニー刺激因子、内皮細胞における顆粒球マクrofアージコロニー刺激因子など、他のサイトカインの産生も制御します。この遺伝子と、同じく 22 番染色体上に存在する関連遺伝子である白血病抑制因子は、共通の祖先遺伝子の重複によって生じた可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードしています。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]、機能: 成長調節因子。多数の腫瘍細胞株の増殖を阻害する。AIDS-KS 細胞の増殖を刺激する。内皮細胞からの IL-6、G-CSF、GM-CSF などのサイトカイン産生を制御する。I 型 OSM 受容体 (LIPR と IL6ST からなるヘテロ二量体) と II 型 OSM 受容体 (OSMR と IL6ST からなるヘテロ二量体) の両方を利用する。類似性: LIF/OSM ファミリーに属する。

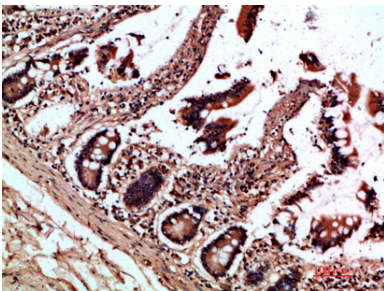
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;

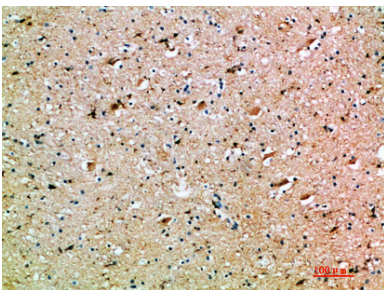
画像データ



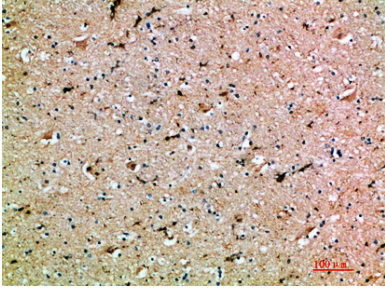
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された